

## 令和7年度地域経済動向調査報告書

### 報告書の概要

- I. 地域経済動向調査について
- II. 経済動向調査分析内容
  - A【全業種】 1.一宮商工会地区 2.愛知県概略版
  - B【建設業】 1.一宮商工会地区 2.愛知県概略版
  - C【製造業】 1.一宮商工会地区 2.愛知県概略版
  - D【小売業】 1.一宮商工会地区 2.愛知県概略版
  - E【サービス業】 1.一宮商工会地区 2.愛知県概略版

一宮商工会

# I. 地域経済動向調査について

## 1. 目的

このアンケート調査は、一宮商工会地区内の地域経済動向について商工会員（中小事業者）を対象に実施し、その結果を分析したものと愛知県商工会連合会が作成した「中小企業景況調査（愛知県概略版）」の分析内容を抜粋し、比較・整備して本商工会ホームページ等を通して事業者提供し、事業継続の材料発掘に繋げていくことを目的としています。

## 2. 調査対象時期

令和7年10月～12月 ※令和11年度まで年1回実施していきます。（1年目）

## 3. 調査方法

〔調査対象〕本商工会地区内における商工会員（中小事業者）

建設業・製造業・小売業（卸売業含む）・サービス業（飲食・不動産・設計業等含む）

〔調査手法〕郵送によるアンケート調査（アンケート等で回収）

〔調査対象期間〕令和7年10月～12月（前年同期と比較）

〔回収事業数〕25事業所（配布数40事業所） 回収率＝62%

〔業種別回収状況〕

- 建設業 配布数（件）：10 回収事業数（件）：5 回収率（%）：50
- 製造業 配布数（件）：10 回収事業数（件）：8 回収率（%）：80
- 小売業 配布数（件）：10 回収事業数（件）：6 回収率（%）：60
- サービス業 配布数（件）：10 回収事業数（件）：6 回収率（%）：60

## 4. 分析方法

この調査は、各質問項目に「増加（上昇等）」と回答した事業所の計と「減少（悪化等）」と回答した事業所の計との差DIを中心に分析を行っています。

報告書に記載されているDI数値と天気マークの関係は次のとおりです。

雨	曇	薄雲	晴れ	快晴
				
DI △100.0～△60.1	DI △60.0～ △20.1	DI △20.0～20.0	DI 20.1～60.0	DI 60.1～100.0

←景気が悪い

景気が良い→

※DIとは「景気動向指数」と呼ばれるもので、「増加（上昇等）」と回答した事業所の計と「減少（悪化等）」と回答した事業所の計を差し引いた数値のこと。プラスであれば景気は上向していると判断され、マイナスが大きくなると企業の景況感が悪いことを示します。

※「業況」とは事業所自身が判断する自社の景気のことです。

## II. 経済動向調査分析内容

【全業種】～【サービス業】まで1.一宮商工会地区、2.愛知県概略版の調査内容を記載しています。

### A【全業種】

#### 1. 一宮商工会地区における全業種の景況《調査対象事業所数：25》

令和7年10月～12月期の景況

##### ◎全業種の業況D I

全業種の景況について、対象の事業所に前年同期と比較した今期の業況と今後の見通しの業況を設問により確認したところ、下記の㊦、㊧の業況D Iの表に示したとおり、今期の全業種の業況D Iは△7、今後の見通し業況D Iは△10となっており、前年比でそれぞれ1ポイント好転、5ポイント低下している。今後の見通しについて、「変わらない」が事業者の大半の答えであり見通しがつかない状況とみている。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- |             |        |        |         |
|-------------|--------|--------|---------|
| ㊦業況（今期）     | ①楽になった | ②変わらない | ③苦しくなった |
| ㊧業況（今後の見通し） | ①良くなる  | ②変わらない | ③悪くなる   |



設問の結果

##### ㊦業況D I（今期） ①「楽になった」－ ③「苦しくなった」

	①楽になった	②変わらない	③苦しくなった	D I	
業況	0	18	7		△7

##### ㊧業況D I（今後の見通し） ①「良くなる」－ ③「悪くなる」

	①良くなる	②変わらない	③悪くなる	D I	
業況	0	15	10		△10

〈令和7年〉㊦今期の業況D I △7（対前年比 1好転） 〈令和6年〉㊦業況D I △8

①今後の業況D I △10（対前年比 5低下） ①業況D I △5

##### ◎全業種の主要D I

前年同期と比較した主要D I（売上高・採算・資金繰り）を設問により確認したところ、売上高D I△6、採算D I△7、資金繰りD I△5となっており、前年比でそれぞれ2ポイント低下、7ポイント好転、1ポイント低下している。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- |       |        |        |         |
|-------|--------|--------|---------|
| ○売上高  | ①増えた   | ②変わらない | ③減った    |
| ○採算   | ①良くなった | ②変わらない | ③悪くなった  |
| ○資金繰り | ①楽になった | ②変わらない | ③苦しくなった |



設問の結果

全業種の景況図 ①「良好・増加」— ③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I	
売上高	6	7	12		△6
採算	3	12	10		△7
資金繰り	0	20	5		△5

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」と表記しています。

〈令和7年〉売上高D I △6 (対前年比 2低下)      〈令和6年〉売上高D I △ 4  
 採算D I △7 (対前年比 7好転)      採算D I △14  
 資金繰りD I △5 (対前年比 1低下)      資金繰りD I △ 4

2. 愛知県内商工会地区における全業種景況 中小企業景況調査(愛知県概略版)より抜粋  
令和7年10月～12月期実績、令和8年1月～3月期見通し

≪産業全体はすべての指標で上昇≫

今期の産業全体の景況は、売上額D Iが△1.1、採算D Iは△12.9、資金繰りD Iが△9.0となり、対前期比でそれぞれ8.4ポイント、1.1ポイント、6.7ポイント上昇した。

次期は、売上額D I・資金繰りD Iが上昇、採算D Iが悪化する見通しである。

全業種の主要D Iの対前年同期比推移

・売上額D I △ 1.1 (対前期比 8.4上昇)      次期予想 △ 0.6 (対前期比 0.5上昇)  
 ・採算D I △12.9 (対前期比 1.1上昇)      次期予想 △13.0 (対前期比 △0.1悪化)  
 ・資金繰りD I △ 9.0 (対前期比 6.7上昇)      次期予想 △ 7.9 (対前期比 1.1上昇)

〈全業種景況図〉

時期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
07年 7月～9月		△ 9.5 ↗		△14.0 ↗		△15.7 ↗
07年 10月～12月		△ 1.1 ↗		△12.9 ↗		△ 9.0 ↗
08年 1月～3月 (見通し)		△ 0.6 ↗		△13.0 ↘		△ 7.9 ↗

〔一宮商工会地区と愛知県概略版の比較〕

令和7年10月～12月の全業種の景況は愛知県概略版ではすべての指標で上昇している。一宮商工会地区では売上高D I、資金繰りD Iは低下、採算D Iは好転を示している。

今後の景況の見通しは愛知県概略版では上昇傾向であるが、一宮商工会地域においては「変わらない」「悪くなる」が多く、今後も景気の不安定感が続くと感じられ、見通しは不透明である。

## B【業種別：建設業】

### 1. 一宮商工会地区における建設業の景況《調査対象事業所数：5》

令和7年10月～12月期の景況

#### ◎建設業の業況D I

建設業の景況について、対象の事業所に前年同期と比較した今期の業況と今後の見通しの業況を設問により確認したところ、下記の㊦、㊧の業況D Iの表に示したとおり、今期の業況D Iは△1、今後の業況D Iは△2となり、対前年比でともに2ポイント、低下しており、まだまだ不安定な見通しを持っている。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- |             |        |        |         |
|-------------|--------|--------|---------|
| ㊦業況（今期）     | ①楽になった | ②変わらない | ③苦しくなった |
| ㊧業況（今後の見通し） | ①良くなる  | ②変わらない | ③悪くなる   |



設問の結果

#### ㊦業況D I（今期） ①「楽になった」— ③「苦しくなった」

	①楽になった	②変わらない	③苦しくなった	D I	
業況	0	4	1		△1

#### ㊧業況D I（今後の見通し） ①「良くなる」— ③「悪くなる」

	①良くなる	②変わらない	③悪くなる	D I	
業況	0	3	2		△2

〈令和7年〉㊦今期の業況D I △1（対前年比 2低下）      〈令和6年〉㊦業況D I 1  
 ㊧今後の業況D I △2（対前年比 2低下）                      ㊧業況D I 0

#### ◎建設業の主要D I

前年同期と比較した主要D I（売上高・採算・資金繰り）を設問により確認したところ、売上高D Iは△4であり、対前年比で8ポイント悪化した。採算D Iと資金繰りD Iはともに△1となっており、対前年比はそれぞれ2ポイント好転、1ポイント悪化した。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- |       |        |        |         |
|-------|--------|--------|---------|
| ○売上高  | ①増えた   | ②変わらない | ③減った    |
| ○採算   | ①良くなった | ②変わらない | ③悪くなった  |
| ○資金繰り | ①楽になった | ②変わらない | ③苦しくなった |



設問の結果

建設業景況図 ①「良好・増加」— ③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I	
売上高	0	1	4		Δ4
採算	1	2	2		Δ1
資金繰り	0	4	1		Δ1

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」と表記しています。

〈令和7年〉売上高D I Δ4 (対前年比 8悪化)      〈令和6年〉売上高D I 4  
 採算D I Δ1 (対前年比 2好転)      採算D I Δ3  
 資金繰りD I Δ1 (対前年比 1悪化)      資金繰りD I 0

◎建設業の業種別項目D I

業種別項目D Iは、前年同期と比較した仕入単価、受注数、従業員について設問により確認したところ、仕入単価D Iは3、受注数D IはΔ2、従業員D IはΔ1であった。仕入単価D I、受注数D I、従業員D Iの対前年比はそれぞれ3ポイント、1ポイント、1ポイント減少している。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- |       |       |        |       |
|-------|-------|--------|-------|
| ○仕入単価 | ①上がった | ②変わらない | ③下がった |
| ○受注数  | ①増えた  | ②変わらない | ③減った  |
| ○従業員  | ①増えた  | ②変わらない | ③減った  |



設問の結果

業種別項目D I (建設業) ①「良好・増加」— ③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I
仕入単価	3	2	0	3
受注数	0	3	2	Δ2
従業員	0	4	1	Δ1

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」と表記しています。

〈令和7年〉仕入単価D I 3 (対前年比 3減少)      〈令和6年〉仕入単価D I 6  
 受注数D I Δ2 (対前年比 1減少)      受注数D I Δ1  
 従業員D I Δ1 (対前年比 1減少)      従業員D I 0

〔一宮商工会地区の建設業が直面している問題点〕

- ◎仕入価格の増加 3事業所
- ◎熟練技術者確保難 3事業所
- ◎従業員の確保難 2事業所
- ◎人件費増加 1事業所
- ◎材料人件費以外経費増加 1事業所
- ◎需要の停滞 1事業所

建設業が直面している問題点は「仕入価格の増加」「熟練技術者の確保難」「従業員の確保難」が多くを占めている。

《建設業者のコメント》

◆建築基準法の改正により、バタバタしている。各業種とも若手の技術者が少ない。

2. 愛知県内商工会地区の建設業の景況 中小企業景況調査（愛知県概略版）より抜粋  
 ≪建設業はすべての指標で上昇≫

建設業では、売上額DIが17.4、採算DIが21.7、資金繰りDIが13.0となり、対前期比でそれぞれ4.4ポイント、17.4ポイント、8.6ポイント上昇となった。

次期は、すべての指標で悪化する見通しである。

建設業の主要DIの対前年同期比推移

- ・売上額DI 17.4（対前期比 4.4上昇） 次期予想 13.7（対前期比 △3.7悪化）
- ・採算DI 21.7（対前期比 17.4上昇） 次期予想 13.6（対前期比 △8.1悪化）
- ・資金繰りDI 13.0（対前期比 8.6上昇） 次期予想 4.4（対前期比 △8.6悪化）

〈建設業景況図〉

時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
07年 7月～9月		13.0 ↗		4.3 ↗		4.4 ↗
07年 10月～12月		17.4 ↗		21.7 ↗		13.0 ↗
08年 1月～3月 (見通し)		13.7 ↘		13.6 ↘		4.4 ↘

〔一宮商工会地区と愛知県概略版の比較〕

令和7年10月～12月の建設業の景況は愛知県概略版では売上額DI、採算DI、資金繰りDIのすべての指標で上昇した。一宮商工会地区では売上高DIと資金繰りDIは悪化、採算DIは好転となっている。今後、愛知県概略版では売上額DI、資金繰りDI、採算DIはすべて悪化するとみられている。一宮商工会地区の業況は「変わらない」もしくは「悪くなる」との回答が多くを占めている。

## C 【業種別：製造業】

### 1. 一宮商工会地区における製造業の景況《調査対象事業所数：8》

令和7年10月～12月期の景況

製造業の景況について、対象の事業所に前年同期と比較した今期の業況と今後の見通しの業況を設問により確認したところ、次頁の㊦、㊧の業況D Iの表に示したとおり、今期の製造業の業況D Iは△4、今後の業況D Iは△5で対前年比はそれぞれ横ばい、6ポイント低下している。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- ㊦業況（今期）                      ①楽になった                      ②変わらない                      ③苦しくなった  
 ㊧業況（今後の見通し）            ①良くなる                          ②変わらない                      ③悪くなる



設問の結果

㊦業況D I（今期） ①「楽になった」－ ③「苦しくなった」

	①楽になった	②変わらない	③苦しくなった	D I	
業況	0	4	4		△4

㊧業況D I（今後の見通し） ①「良くなる」－ ③「悪くなる」

	①良くなる	②変わらない	③悪くなる	D I	
業況	0	3	5		△5

〈令和7年〉㊦今期の業況D I △4（対前年比 0横ばい）      〈令和6年〉㊦業況D I △4  
 ㊧今後の業況D I △5（対前年比 6低下）                      ㊧業況D I 1

### ◎製造業の主要D I

前年同期と比較した主要D I（売上高・採算・資金繰り）を設問により確認したところ、売上高D I、採算D I、資金繰りD Iはそれぞれ△4、△5、△1となっており、対前年比で売上高D Iは1ポイント好転、採算D Iは横ばい、資金繰りD Iは1ポイント悪化している。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- 売上高                      ①増えた                              ②変わらない                      ③減った  
 ○採算                          ①良くなった                          ②変わらない                      ③悪くなった  
 ○資金繰り                      ①楽になった                          ②変わらない                      ③苦しくなった



設問の結果

製造業景況図 ①「良好・増加」— ③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I	
売上高	1	2	5		△4
採算	0	3	5		△5
資金繰り	0	7	1		△1

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」と表記しています。

〈令和7年〉売上高D I △4 (対前年比 1好転)      〈令和6年〉売上高D I △5  
 採算D I △5 (対前年比 0横ばい)      採算D I △5  
 資金繰りD I △1 (対前年比 1悪化)      資金繰りD I 0

◎製造業の業種別項目D I

業種別項目D Iは、前年同期と比較した仕入単価、受注数、従業員について設問により確認したところ、仕入単価D Iは4、受注数D Iは△4、従業員D Iは△1となっており、対前年比で仕入単価D Iは2ポイント減少、受注数D Iは1ポイント増加、従業員D Iは3ポイント減少となっている。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- 材料仕入単価    ①上がった                      ②変わらない                      ③下がった  
 ○受注数            ①増えた                          ②変わらない                      ③減った  
 ○従業員            ①増えた                          ②変わらない                      ③減った



設問の結果

業種別項目D I (製造業) ①「良好・増加」— ③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I	
仕入単価	5	2	1		4
受注数	1	2	5		△4
従業員	0	7	1		△1

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」と表記しています。

〈令和7年〉仕入単価D I 4 (対前年比 2減少)      〈令和6年〉仕入単価D I 6  
 受注数D I △4 (対前年比 1増加)      受注数D I △5  
 従業員D I △1 (対前年比 3減少)      従業員D I 2

〔一宮商工会地区の製造業が直面している問題点〕

- ◎人件費の増加 6事業所
- ◎需要の停滞 6事業所
- ◎仕入価格の増加 4事業所
- ◎従業員の確保難 3事業所
- ◎新規参入事業者増加 1事業所
- ◎店舗老朽化 1事業所
- ◎材料人件費以外経費増加 1事業所
- ◎熟練技術者確保難 1事業所

《製造業者のコメント》

- ◆給与相場上昇で、大企業との格差拡大
- ◆中国景気の停滞
- ◆原材料費と人件費等高騰の影響を受けている。借入金の利息上昇も懸念している。
- ◆人口減少により建築着工数がかなり減っている。従来の仕事では継続していくことは不可能。

2. 愛知県内商工会地区の製造業の景況 中小企業景況調査（愛知県概略版）より抜粋

《製造業は売上額D Iが好転、採算D Iが横ばい、資金繰りD Iが悪化》

製造業では、売上額D Iが△19.5となり対前期比で27.7ポイント好転し、採算D Iは△16.7となり対前期比で横ばい、資金繰りD Iは△20.0となり対前期比で3.3ポイント悪化となった。

次期は、売上額D Iが上昇、採算D I・資金繰りD Iが好転する見通しである。

製造業の主要D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △19.5（対前期比 27.7好転） 次期予想 △5.5（対前期比 14.0上昇）
- ・採算D I △16.7（対前期比 0.0横ばい） 次期予想 △11.1（対前期比 5.6好転）
- ・資金繰りD I △20.0（対前期比 △3.3悪化） 次期予想 △11.4（対前期比 8.6好転）

〈製造業景況図〉

時期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
07年 7月～9月		△47.2 ↘		△16.7 ↗		△16.7 ↗
07年 10月～12月		△19.5 ↗		△16.7 →		△20.0 ↘
08年 1月～3月 (見通し)		△5.5 ↗		△11.1 ↗		△11.4 ↗

〔一宮商工会地区と愛知県概略版の比較〕

令和7年10月～12月の製造業の景況は愛知県概略版では売上額D Iが好転、採算D Iが横ばい、資金繰りD Iが悪化している。一宮商工会地区でもそれぞれ好転、横ばい、悪化となっている。今後、愛知県概略版ではすべての指標で好転の見通し。一宮商工会地区の業況は「変わらない」もしくは「悪くなる」との回答が多くを占めている。

## D【業種別：小売業（卸売業含む）】

### 1. 一宮商工会地区における小売業の景況《調査対象事業所数：6》

#### 令和7年10月～12月期の景況

小売業の景況について、対象の事業所に前年同期と比較した今期の業況と今後の見通しの業況を設問により確認したところ、下記の㊦、㊧の業況D Iの表に示したとおり、今期の小売業の業況D Iは△2、今後の業況D Iは△2となっており、対前年比はそれぞれ2ポイント、3ポイント好転している。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- ㊦業況（今期）                      ①楽になった                      ②変わらない                      ③苦しくなった  
 ㊧業況（今後の見通し）              ①良くなる                          ②変わらない                      ③悪くなる



設問の結果

#### ㊦業況D I（今期） ①「楽になった」－ ③「苦しくなった」

	①楽になった	②変わらない	③苦しくなった	D I	
業況	0	4	2		△2

#### ㊧業況D I（今後の見通し） ①「良くなる」－ ③「悪くなる」

	①良くなる	②変わらない	③悪くなる	D I	
業況	0	4	2		△2

〈令和7年〉㊦今期の業況D I △2（対前年比 2好転）

〈令和6年〉㊦業況D I △4

㊧今後の業況D I △2（対前年比 3好転）

㊧業況D I △5

#### ◎小売業の主要D I

前年同期と比較した主要D I（売上高・採算・資金繰り）を設問により確認したところ、売上高D Iは△1、採算D Iは△3、資金繰りD Iは△2となっており、対前年比で売上高D Iは3ポイント好転し、採算D Iと資金繰りD Iはともに0ポイントで横ばいとなった。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- 売上高                      ①増えた                          ②変わらない                      ③減った  
 ○採算                          ①良くなった                      ②変わらない                      ③悪くなった  
 ○資金繰り                      ①楽になった                      ②変わらない                      ③苦しくなった



設問の結果

小売業景況図 ①「良好・増加」— ③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I	
売上高	2	1	3		△1
採算	0	3	3		△3
資金繰り	0	4	2		△2

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」と表記しています。

〈令和7年〉売上高D I △1 (対前年比 3好転)                      〈令和6年〉売上高D I △4  
 採算D I △3 (対前年比 0横ばい)                                      採算D I △3  
 資金繰りD I △2 (対前年比 0横ばい)                                      資金繰りD I △2

◎小売業の業種別項目D I

業種別項目D Iは、前年同期と比較した客単価、客数、仕入単価、従業員について設問により確認したところ、客単価D Iは0、客数D Iは△1、仕入単価D Iは4、従業員D Iは0となっており、対前年比では客単価D Iは1ポイント減少、客数D Iは0ポイント横ばい、仕入単価D Iは2ポイント減少、従業員D Iは1ポイントで増加となっている。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- |       |       |        |       |
|-------|-------|--------|-------|
| ○客単価  | ①増えた  | ②変わらない | ③減った  |
| ○客数   | ①増えた  | ②変わらない | ③減った  |
| ○仕入単価 | ①上がった | ②変わらない | ③下がった |
| ○従業員  | ①増えた  | ②変わらない | ③減った  |



設問の結果

業種別項目D I (小売業) ①「良好・増加」— ③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I
客単価	2	2	2	0
客数	2	1	3	△1
仕入単価	5	0	1	4
従業員	0	6	0	0

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」と表記しています。

〈令和7年〉客単価D I 0 (対前年比 1減少)                      〈令和6年〉客単価D I 1  
 客数D I △1 (対前年比 0横ばい)                                      客数D I △1  
 仕入単価D I 4 (対前年比 2減少)                                      仕入単価D I 6  
 従業員D I 0 (対前年比 1増加)                                      従業員D I △1

〔一宮商工会地区の小売業が直面している問題点〕

- ◎仕入価格の増加 3事業所
- ◎材料人件費以外経費増加 3事業所
- ◎消費者ニーズへの対応 2事業所
- ◎大企業等進出競争激化 1事業所
- ◎店舗の老朽化 1事業所
- ◎人件費増加 1事業所
- ◎取引条件悪化 1事業所
- ◎需要の停滞 1事業所

《小売業者のコメント》

- ◆食料品の値上がりで衣料まで購買が回らない。
- ◆賃金ばかり上がり、売上が低下し経費が増加する。賃金を商品代に転嫁しろというがなかなか出来ない。
- ◆物価高で、お客様のお金が流れにくい。
- ◆金銀プラチナの取引価格が急激に上がりすぎている。

2. 愛知県内商工会地区の小売業の景況 中小企業景況調査（愛知県概略版）より抜粋

《小売業は売上額D I、資金繰りD Iが好転、採算D Iが悪化》

小売業では、売上額D Iが△12.7、資金繰りD Iが△17.0となり、対前期比でそれぞれ0.1ポイント、6.4ポイント好転したが、採算D Iは△31.9となり、対前期比で△8.5ポイント悪化となった。

次期は、売上額D Iが悪化、採算D Iが低下、資金繰りD Iが横ばいする見通しである。

小売業の主要D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △12.7 (対前期比 0.1好転)      次期予想 △14.9 (対前期比 △2.2悪化)
- ・採算D I △31.9 (対前期比 △8.5悪化)      次期予想 △34.1 (対前期比 △2.2低下)
- ・資金繰りD I △17.0 (対前期比 6.4好転)      次期予想 △17.0 (対前期比 0.0横ばい)

〈小売業景況図〉

時期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
07年 7月～9月		△12.8 ↗		△23.4 ↗		△23.4 ↘
07年 10月～12月		△12.7 ↗		△31.9 ↘		△17.0 ↗
08年 1月～3月 (見通し)		△14.9 ↘		△34.1 ↘		△17.0 →

〔一宮商工会地区と愛知県概略版の比較〕

令和7年10月～12月の小売業の景況は愛知県概略版では売上額D I、資金繰りD Iは好転、採算D Iは悪化している。一宮商工会地区では売上高D Iは好転、採算D Iと資金繰りD Iは横ばいである。今後、愛知県概略版では、売上額D Iは悪化、採算D Iは低下、資金繰りD Iは横ばいの見通し。一宮商工会地区の業況は、先が見えないため現状と「変わらない」もしくは「悪くなる」見通しを持っている。

## E 【業種別：サービス業（飲食業含む）】

### 1. 一宮商工会地区におけるサービス業の景況《調査対象事業所数：6》

令和7年10月～12月期の景況

サービス業の景況について、対象の事業所に前年同期と比較した今期の業況と今後の見通しの業況を設問により確認したところ、下記の㊦、㊧の業況D Iの表に示したとおり、今期のサービス業の業況D Iは0、今後の業況D Iは△1となり、対前年比はそれぞれ1ポイントの好転、0ポイントで横ばいとなっている。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- ㊦業況（今期）                      ①楽になった                      ②変わらない                      ③苦しくなった  
 ㊧業況（今後の見通し）              ①良くなる                          ②変わらない                      ③悪くなる



設問の結果

㊦業況D I（今期）    ①「楽になった」 — ③「苦しくなった」

	①楽になった	②変わらない	③苦しくなった	D I	
業況	0	6	0		0

㊧業況D I（今後の見通し）    ①「良くなる」 — ③「悪くなる」

	①良くなる	②変わらない	③悪くなる	D I	
業況	0	5	1		△1

〈令和7年〉㊦今期の業況D I    0（対前年比 1好転）                      〈令和6年〉㊦業況D I    △1

   ①今後の業況D I    △1（対前年比 0横ばい）                      ①業況D I    △1

### ㊦サービス業の主要D I

前年同期と比較した主要D I（売上高・採算・資金繰り）を設問により確認したところ、売上高D Iは3、採算D Iは2、資金繰りD Iは△1となっており、対前年比で売上額D I、採算D I、資金繰りD Iはそれぞれ2ポイント、5ポイント、1ポイント好転となっている。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- 売上高                      ①増えた                                  ②変わらない                              ③減った  
 ○採算                              ①良くなった                              ②変わらない                              ③悪くなった  
 ○資金繰り                      ①楽になった                              ②変わらない                              ③苦しくなった



設問の結果

サービス業景況図 ①「良好・増加」— ③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I	
売上高	3	3	0		3
採算	2	4	0		2
資金繰り	0	5	1		Δ1

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」としています。

〈令和7年〉売上高D I 3 (対前年比 2好転)      〈令和6年〉売上高D I 1  
 採算D I 2 (対前年比 5好転)                      採算D I Δ3  
 資金繰りD I Δ1 (対前年比 1好転)              資金繰りD I Δ2

◎サービス業の業種別項目D I

業種別項目D Iは、前年同期と比較した客単価、客数、仕入単価、従業員について設問により確認したところ、客単価D Iは2、客数D Iは0、仕入単価D Iは4、従業員D Iは3となっており、対前年比で客単価D Iと従業員D Iはそれぞれ3ポイント、4ポイント増加し、客数D Iと仕入単価D Iはそれぞれ3ポイント、2ポイント減少している。

【設問】前年同期と比較して該当するものを選んで下さい。

- |       |       |        |       |
|-------|-------|--------|-------|
| ○客単価  | ①増えた  | ②変わらない | ③減った  |
| ○客数   | ①増えた  | ②変わらない | ③減った  |
| ○仕入単価 | ①上がった | ②変わらない | ③下がった |
| ○従業員  | ①増えた  | ②変わらない | ③減った  |



設問の結果

業種別項目D I (サービス業) ①「良好・増加」— ③「悪化・減少」

	①良好・増加	②変わらない	③悪化・減少	D I
客単価	3	2	1	2
客数	2	2	2	0
仕入単価	4	2	0	4
従業員	3	3	0	3

※設問の“増えた、減った”等をここでは①「良好・増加」、③「悪化・減少」と表記しています。

〈令和7年〉客単価D I 2 (対前年比 3増加)                      〈令和6年〉客単価D I Δ1  
 客数D I 0 (対前年比 3減少)                                      客数D I 3  
 仕入単価D I 4 (対前年比 2減少)                                  仕入単価D I 6  
 従業員D I 3 (対前年比 4増加)                                      従業員D I Δ1

〔一宮商工会地区のサービス業が直面している問題点〕

- ◎仕入単価の増加 4 事業所
- ◎人件費の増加 4 事業所
- ◎需要の停滞 3 事業所
- ◎店舗の老朽化 1 事業所
- ◎消費者ニーズへの対応 1 事業所
- ◎取引条件悪化 1 事業所
- ◎従業員の確保難 1 事業所
- ◎熟練技術者確保難 1 事業所

《サービス業者のコメント》

- ◆設備投資をおこないたいが景気の不透明感もあり、慎重な動きとなっている。
- ◆ブライダル縮小や宴会（少人数が増えた）や、人件費、仕入れも増加の為、新しい取り組みを検討中
- ◆仕入価格の急増が続いており大変。

2. 愛知県内商工会地区のサービス業の景況 中小企業景況調査（愛知県概略版）より抜粋  
 ≪サービス業はすべての指標で上昇≫

サービス業では、売上額D Iが9.6、採算D Iは△9.7、資金繰りD Iが△5.5となり、対前期比でそれぞれ5.5ポイント、2.6ポイント、11.0ポイント上昇した。

次期は、売上額D Iが悪化、採算D I・資金繰りD Iが上昇する見通しである。

サービス業の主要D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I 9.6（対前期比 5.5 上昇） 次期予想 6.9（対前期比 △2.7 悪化）
- ・採算D I △9.7（対前期比 2.6 上昇） 次期予想 △8.3（対前期比 1.4 上昇）
- ・資金繰りD I △5.5（対前期比 11.0 上昇） 次期予想 △4.2（対前期比 1.3 上昇）

〈サービス業景況図〉

時期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
07年 7月～9月		4.1 ↗		△12.3 ↗		△16.5 ↗
07年 10月～12月		9.6 ↗		△9.7 ↗		△5.5 ↗
08年 1月～3月 (見通し)		6.9 ↘		△8.3 ↗		△4.2 ↗

〔一宮商工会地区と愛知県概略版の比較〕

令和7年10月～12月のサービス業の景況は愛知県概略版では売上額D I、採算D I、資金繰りD Iのすべての指標で上昇している。一宮商工会地区においても、売上高D I、採算D I、資金繰りD Iの全てが好転している。今後、愛知県概略版では売上額D Iは悪化、採算D Iと資金繰りD Iは上昇するとみられ、一宮商工会地区の業況は「変わらない」もしくは「悪くなる」見通しを持っている。